

明るく・楽しく・元気よく！そして私らしく



川越至桜

東京大学生産技術研究所
[153-8505] 東京都目黒区駒場4-6-1
講師, 博士(理学).
専門は工学リテラシー, 宇宙物理学.
shiohara@iis.u-tokyo.ac.jp
www.iis.u-tokyo.ac.jp/~shiohara/supernova/

みなさんは「観望会」に参加したことがありますか？観望会とは星を見る会のことです。筆者は大学院生のときに国立天文台に所属していたため、観望会にかかわる機会がありました。観望会ではお客さんと会話をすることがありますが、「星は好きだったけれど、理科の勉強が難しくて興味が薄れました」という人が多いことが気になっていました。

筆者は子供の頃に宇宙に興味をもち、今では宇宙物理学を専門としていますが、高校生のときは物理が苦手科目でした。しかし、宇宙を知るためには物理が必須ということを知り、宇宙のために(?)何とか勉強を続けることができました。このように「自分の興味」とのつながりがわかれば、難しくても興味を失わずにいられるのではないのでしょうか。そこで、科学と私たちとのつながりを伝えるべく、ポスドクになってからも研究の傍ら科学イベントにかかわってきました。

その頃、東京大学生産技術研究所(東大生研)では工学研究を題材とした出張授業やキャンパス公開といったアウトリーチ活動をしていることを知り、かかわることになりました。そして、「科学技術の面白さ」や学校で学ぶ理科などの「学校科目と科学技術とのつながり」を伝える活動を行ってきました。

しかし、2011年3月に起きた東日本大震災をきっかけに転機を迎えます。今まで伝えてきたことだけでなく、「科学技術の社会的な意義や役割」にも重点を置き、伝えていく必要性を感じたためです。そこで現在は、東大生研「次世代育成オフィス」を中心として、科学技術の面白さや学校科目とのつながりに加え、社会的な意義や役割も伝える教育活動、「工学リテラシー」向上を目的とした活動を行っています。さらに、理科などの授業で活用できる教材の開発もしています。これらの活動には、社会との接点を担っている企業や、中学・高校の先生にも協力してもらうことで、新しい形の教育活動となっています。

また、女子中高生を対象とした講演会も毎年開催しています(「仕事と私事」を執筆された大島まり先生や吉江尚子先生、松永行子先生にもご協力いただいています)。女性研究者が行っている研究を紹介するとともに、各分野で輝いている女性研究者そのものを見ても



観望会の準備風景 (一番左が筆者)

らい、理系進路選択を支援することを目的としています。理系進学を不安に思っている女子生徒から「不安が吹き飛んだ」「理系を目指そうと思う」といった前向きな感想をもらえると、とても嬉しく思うとともに、筆者自身の励みにもなっています。

教育活動の成果は目に見えにくいものですが、科学技術研究の成果の一つとして検証する必要があると考えています。そこで、新たなテーマとして工学リテラシーに関する研究を始めました。専門の異なる新しい分野の研究を始めるにあたり不安もありましたが、多くの先生方からの助言や、天文学者である夫と議論(晩酌)することによって、新たな一歩を踏み出すことができました。

新たな研究も軌道に乗りはじめた矢先、悪性リンパ腫であることが発覚しました。長期の抗がん剤治療が必要となり、闘病しながらの研究は思うとおりに進まず本当に不安でした。しかし、周りの方々の温かいサポートのおかげで研究を続けることができました。研究でかかわってきた方々に、このような形でご協力いただくことになるとは……本当にありがたく、心から感謝しています。

宇宙物理学と工学リテラシー、全く異なる分野に見えますが、共通点を見いだすこともあり、研究は面白く奥深いなと実感しています。現在も闘病しながらではありますが、病気も珍しい経験だと楽しみながら、今の自分ができることを全力で取り組んでいます。「明るく・楽しく・元気よく！」私らしく研究を続けていきたいと思っています。